

西洋画科

(平常成績油画) 窪田喜作「夏の夕」、矢崎千代治「夏」、紫崎恒信「秋の夕」

彫刻科

(卒業製作木彫) 長愛之「少女鶏を愛す」、船井登久太郎「老爺」、前島交吉「汐干狩」

図案科

(平常成績) 千頭庸哉外四人「蒔絵文台下図五種」、小檜山右近外四人「笠翁式書棚下図五種」、(卒業製作) 吉田衡「建築図案」、松長長三郎「同上」、大槻才吉「同上」

彫金科

(卒業製作) 山本正三郎「打出し人物円額」、海野豊三郎「出山釈迦立像」、滝本友太郎「江の島夜景額図」

鍛金科

(卒業製作) 山下英夫「象置香炉」、石田英一「群兎置物」、曾根銳「仙蓋瓶」

鍍金科

明治二十五年六月東京美術学校製作「着色標本」十二点、(研究製作) 桜岡三四郎「聖観音」、(卒業製作) 津田信夫「婦人愁思の状」

漆工科

(卒業製作) 蒔田実「螺鈿秋草蒔絵紙箱」、沢木彦門「江辺に千鳥蒔絵茶箱」、三村耕三「松風蒔絵澡豆箱(洗粉)」、前川佐一「風前に秋草蒔絵手箱」、藤岡金吾「龍田川蒔絵硯箱」

(明治四十四年火災焼残り書類自明治三十三年一月私立学校、会社往復至同三十四年十二月私立諸会等書類)による。

なお、右引用書類には作品の寸法、価格、製作年、作品解説等、細かい記載があるが、ここでは割愛する。

### ⑨ パレット倶楽部

明治三十三年二月二十二日付『二六新報』に次の記事が載っている。

○パレット倶楽部 東京美術学校西洋畫科在學生並に卒業生及び同校西洋畫關係者は此度パレット(調色板の意)倶楽部なるものを組織し技藝家の徳義及び品行上の制裁は勿論技術の錬磨を旨とし相互の親密を計らん爲め毎月一回づゝ會合し三ヶ月毎に製作品を集めて之を鑑評し優等者へは金員を贈與する仕組にて去る土曜日其第一會を某所に催し規約を定めたる後豫て調製し置きたる美麗なる名簿へ各々自署して散會せりと 誠に同倶楽部の如きは技術家にとりて最も有益なるものなるべし

### ⑩ 无声会

明治三十三年三月、川端玉章門下だった若手画家たちが无声会を結成した。会員は福井江亭、島崎柳塙、渡辺香涯(明治三十年本校卒)、結城素明(同)、大森敬堂(同三十二年本校卒)、平福百穂(同)ら少数であったがのちに石井柏亭も加わり、本年三月の第一回展以降大